

## 各種支給奨学金 志望登録書類及び登録書記入上の留意点

### 提出書類

1. 各種支給奨学金志望登録書（記入上の留意点は後述しています）
2. 所得に関する証明書類

#### a. 所得証明

- ✓ 出願者全員が提出してください。
- ✓ 市区町村役場で発行を受けてください。＜コピー不可、マイナンバーの記載のないもの＞
- ✓ 「父と母、またはこれに代わって家計を支えている人」の 2020年10月以降に発行された最新のものが必要です。
- ✓ 父母ともに収入の有無にかかわらず双方分の提出が必要です。  
(配偶者控除を受けている場合でも、必ず双方分を提出してください。)

#### b. その他証明書 <以下の項目に該当する場合は、証明書類を必ず提出してください。>

- ① 2020年1月以降に就職または転職した、または収入が大幅に増減した場合  
→ 給与支払見込証明書（勤務先で証明を受ける※書式自由）または直近3カ月の給与明細のコピー  
自営業の場合は1カ月あたりの平均収支一覧等、最近の状況を示す書類
- ② 現在、無職の場合  
→ 退職証明書（退職した勤務先から証明を受ける）または家計状況報告書（書式自由）に現在の生活費の出処（金額含む）や今後の状況を詳しく記入すること。
- ③ 倒産、営業停止等の場合 → 関係官庁による証明書
- ④ 長期療養者（6カ月以上）がいる場合 → 診断書、医療費明細書(最近6カ月分)
- ⑤ 障がい者がいる場合 → 「障害者手帳」または「療育手帳」のコピー
- ⑥ 出願の前年から出願時まで災害（風水害、火災、地震等）にあった場合  
→ 「罹災(被災)証明書」 <関係官庁による証明を受ける>
- ⑦ 現在、雇用保険受給中の場合 → 雇用保険受給資格証 <職業安定所から証明を受ける>
- ⑧ 無職、あるいは収入が極端に少ない場合  
→ 生活費の出所を記入した文書（書式自由、家計支持者の署名・捺印）
- ⑨ 現在、生活保護を受けている場合  
→ 「保護決定（変更）通知書」（受給金額が記載されたもの）コピー
- ⑩ 年金を受給している場合  
→ 「年金振込通知書」（受給金額が記載されたもの）コピー ※余白に年間振込回数を記入すること

登録書記入上の留意点

項目	留意点
本人の学歴	□空白期間がないように記入する。
今年度受給中の奨学金	□受給しているものを✓する。民間団体の奨学金を受給している場合は名称、貸与/給与の別、月額を記入する。
家族・職業	<p>□同居・別居を問わず、生計を同一にする者全員を記入する。(独立生計を営む兄弟姉妹や同居でも生計を一にしない祖父母等は記入不要)</p> <p>□主たる家計支持者には○印、別居者には×印を続柄欄に記入する。</p> <p>□現在の職業は、会社員、自営業、公務員など具体的に記入する。</p> <p>□在職期間は、現在の職業に就いてからの年数を記入する。</p> <p>□予備校、各種学校に通学する者は、<b>就学者を除く家族欄に記入</b>する。</p>
収入金額・所得金額	<p>□給与所得者の収入金額、所得金額欄のみ、鉛筆で記入する。</p> <p>□1万円未満は切り捨てて記入する。</p> <p>□父と母またはこれに代わって家計を支えている人の平成30年1月～12月の1年間の収入金額をもとに記入する。</p> <p>□同一人で2種類以上の所得がある時は上下に区分して記入する。ただし、いずれも給与所得の場合は、合計した金額を記入する。</p> <p>□商・工・林・水産業所得、農業所得などその他の所得がある者は、所得証明書の各所得金額を記入する(「給与所得の収入金額」欄は空欄のままにする)。</p>
1カ月あたりの本人の平均生活費	<p>□自宅・自宅外生ともに自分で管理している1カ月の生活費の目安を記入する。</p> <p>□( )内には、アルバイトの職種など具体的な内容を記入する。</p> <p>□<b>収入・支出の合計を合致させる。</b></p>
奨学金希望の理由	<p>□家族、家計の状況等について詳しく記入する。</p> <p>□1年以内に家計急変があった場合等、証明書では表せない事情については特に詳しく説明する。</p>
大学院進学 of 目的と研究計画	□大学院に進学した目的、専攻分野におけるこれまでの研究内容や将来従事しようとする分野などについて具体的に記入すること。

以上